



迷惑メール対策を行う

MMSやEメール (i) へのアドレスに、迷惑メールがたくさん届くときは、「My SoftBank」から迷惑メールの設定を変更します。「My SoftBank」にログインする手順は、P.65を参考にしてください。

迷惑メール対策を設定する

1 Wi-Fiを未接続にした状態で、ホーム画面で📍をタップします。



2 📖をタップします。



3 「My SoftBank」をタップします。



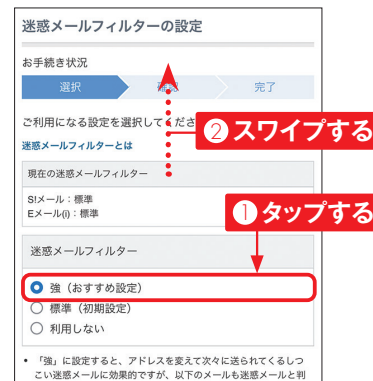
4 P.65を参考にして「My SoftBank」にログインし、「メール設定」をタップします。



5 「迷惑メール対策」の「変更」をタップします。



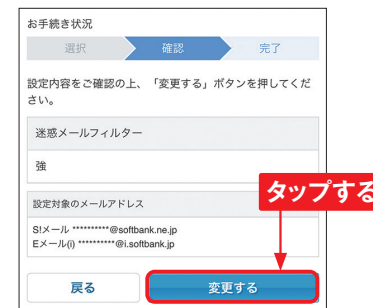
6 迷惑メールフィルターの強度を変更できます。ここでは「強」をタップし、上方向にスワイプします。



7 「次へ」をタップします。



8 迷惑メールフィルターの強度変更の確認画面が表示されます。問題がなければ、「変更する」をタップします。



9 迷惑メールフィルターの強度が変更されました。「迷惑メール対策の設定トップへ」をタップすると、手順⑤の画面に戻ります。



MEMO 2種類のフィルター設定

「標準」では、データベースをもとに、メールの内容を機械的に判断し、スパムと判断されたメールが拒否されます。一方で「強」に設定すると、アドレスを変えて次々に送られてくるメールやなりすましメールなども拒否されます。なお、初期設定では、「標準」となっています。



プロフィールを作成する

Safariでは、「仕事」や「趣味」などのテーマごとにプロフィールを作成し、用途に応じて切り替えることができます。プロフィールの設定により、お気に入りや閲覧履歴、タブグループの分類が可能となります。

プロフィールを作成する

- ① ホーム画面で[設定]をタップします。



- ② [Safari] をタップします。




- ③ [新規プロフィール] をタップします。




- ④ 「名前とアイコン」「設定」をそれぞれ設定し、[完了] をタップします。



プロフィールを切り替える

- ① Safariを起動した状態で、ツールバーのをタップします。



- ②  をタップします。



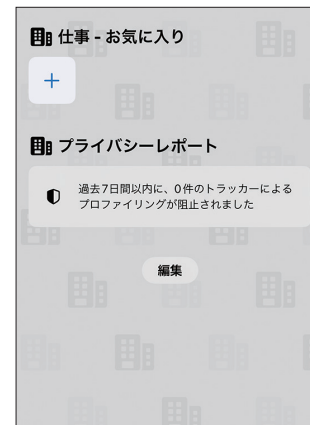
- ③ [プロフィール] をタップし、切り替えたいプロフィールをタップします。なお、「個人用」はプロフィールを作成すると自動で追加されます。

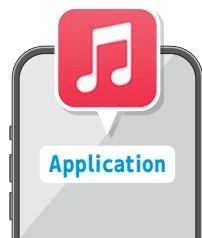


- ④ 初回はスタートページが表示されます。画面に表示されているタブ、または画面右下の [完了] をタップします。



- ⑤ プロフィールが切り替わります。



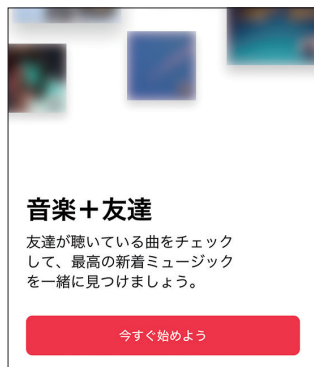


Apple Musicを利用する

Apple Musicは、インターネットを介して音楽をストリーミング再生できるサービスです。サブスクリプションで提供されており、月額料金を支払うことで、1億曲以上の音楽を聴き放題で楽しめます。

Apple Musicとは

Apple Musicは、サブスクリプション制の音楽ストリーミングサービスです。ストリーミング再生だけでなく、iPhoneやiPadにダウンロードしてオフラインで聴いたり、プレイリストに追加したりすることもできます。個人プランは月額1,080円、ファミリープランは月額1,680円、学生プランは月額580円で、利用解除の設定を行わない限り、毎月自動で更新されます。サブスクリプションを購入すると、iTunes Storeで販売しているさまざまな曲とミュージックビデオを自由に視聴できるほか、著名なアーティストによるライブ配信のラジオなどを聴くこともできます。また、ファミリープランでは、家族6人まで好きなときに好きな場所で、それぞれの端末上からApple Musicを利用できます。なお、Apple Oneに登録することでもApple Musicを利用できます。Apple Oneは、Apple Music、Apple TV+、Apple Arcade、iCloud+の4つのサービスを個人プランは月額1,200円、ファミリープランは月額1,980円で利用できます。



Apple Musicでは、プロフィールを登録して、ほかのユーザーと曲やプレイリストを共有することができます。



SiriからApple Musicを利用する、Voiceプランも選択することができます（月額480円、1か月間無料）。安価ですが、ほかのプランに比べるとできることに制限があります。

Apple Musicの利用を開始する

① ホーム画面で🎵をタップし、[今すぐ聴く]をタップします。



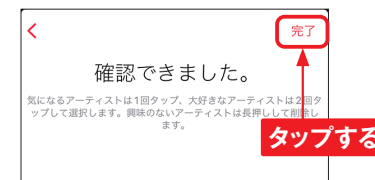
② 「Apple Musicを6か月間無料で楽しもう。」の[無料で開始]（条件によって表示は異なります）をタップします。



③ アカウントを確認し、[サブスクリプションに登録]をタップします。



④ 気になるジャンルとアーティストを画面に従って登録し、[完了]をタップするとApple Musicの利用が開始します。



MEMO サブスクリプション購入のお知らせを確認する

Apple Musicのサブスクリプションを開始すると、Apple IDのメールアドレス宛に「サブスクリプションの確認」という件名でメールが届きます。このメールには、購入日や更新価格などが記載されているので、大切に保管しましょう。





翻訳を利用する

「翻訳」アプリでは、音声入力で任意の言語にリアルタイム翻訳ができます。また、使用する言語をあらかじめダウンロードしておくことで、電波の届かない場所でも利用できるようになります。

音声で翻訳する

- ホーム画面で[翻訳]をタップします。初回起動時は、画面の指示に従って操作します。



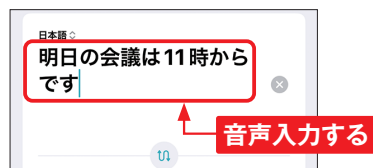
- 翻訳する言語（ここでは「英語（アメリカ）」と「スペイン語（スペイン）」）の◇をタップして設定します。



- 🎤をタップします。



- 翻訳したい内容を音声入力します。手順③の画面で [テキストを入力] をタップすると、テキスト入力もできます。



- 翻訳した音声は自動再生され、テキストが画面に表示されます。



「翻訳」アプリを活用する

- オフライン時にも使用できるようにする

- 「翻訳」アプリを起動し、画面上部の🗨️をタップします。



- [ダウンロードする言語] をタップします。

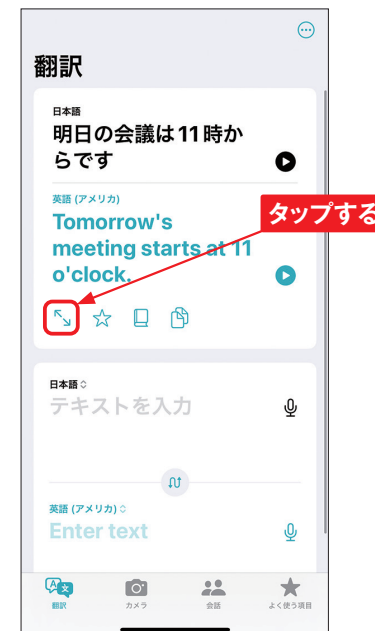


- 言語をタップしてダウンロードすると、その言語がオフラインで使用可能になります。



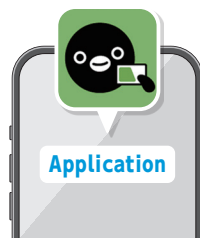
- 翻訳をほかの人に見せる

- P.182手順⑤の画面で🗨️をタップします。



- 翻訳したテキストが大きく表示されます。▶️をタップするとテキストの読み上げ、🗨️をタップすると、手順①の画面に戻ります。





Apple Payで Suicaを利用する

Apple Payは、Appleの提供する電子決済サービスです。Suicaやクレジットカードを登録しておく、交通機関を利用するときや、店舗で買い物をするときスムーズに支払いができます。

🔌 「ウォレット」アプリにクレジットカードを登録する

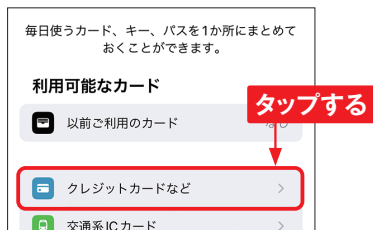
- 1 ホーム画面で「ウォレット」をタップします。



- 2 「追加」をタップします。初回起動時は、画面の案内に従って操作します。



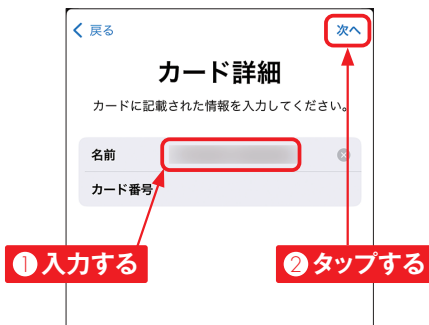
- 3 「クレジットカードなど」をタップします。



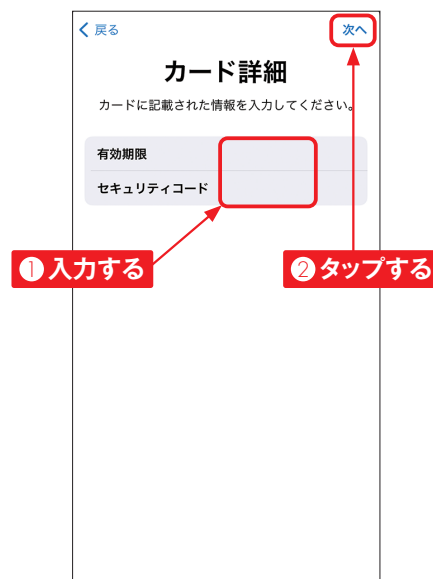
- 4 「続ける」をタップし、iPhoneのファインダーに登録したいカードを写します。



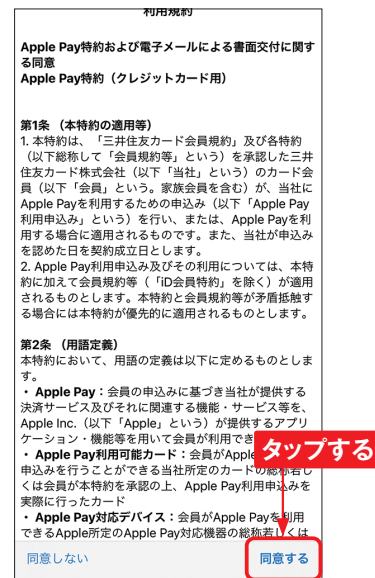
- 5 「カード詳細」画面で「名前」の欄をタップしてカードの名義を入力し、「次へ」をタップします。



- 6 有効期限とセキュリティコードを入力して、「次へ」をタップします。



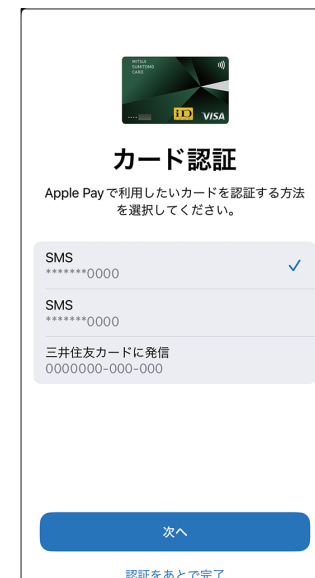
- 7 「利用規約」画面が表示されたら、内容を確認し、「同意する」をタップします。



- 8 「完了」をタップします。



- 9 「カード認証」画面が表示されたら、画面の指示に従って認証を行います。





FaceTimeを利用する

FaceTimeは、Appleが無料で提供している音声／ビデオ通話サービスです。iPhoneやiPad、パソコンやAndroidスマートフォンとの通話が可能です。

FaceTimeの設定を行う

- ① ホーム画面で[設定]をタップします。なお、必要であればあらかじめSec.19を参考に、Wi-Fiに接続しておきます。



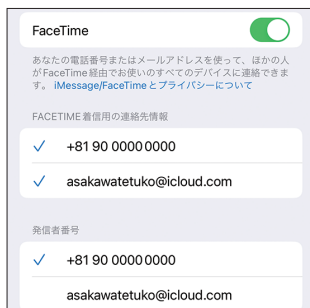
- ② [FaceTime] をタップします。



- ③ 「FaceTime」がオフになっている場合はタップします。



- ④ FaceTimeがオンになります。Apple IDにサインインしている場合は自動的にApple IDが設定されます。





- ⑤ 「FACETIME着信用の連絡先情報」に電話番号と、Apple IDのメールアドレスが表示されます。

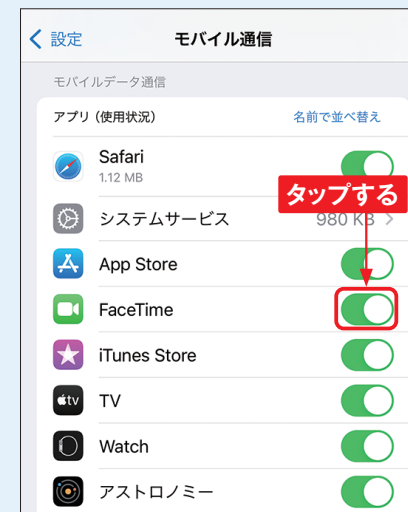


- ⑥ 手順⑤の画面の「発信者番号」で、FaceTimeの発信先として利用したい電話番号かメールアドレスをタップして、チェックを付けます。



MEMO FaceTimeをWi-Fi接続時のみ利用する

ホーム画面で [設定] → [モバイル通信] の順にタップし、「FaceTime」の  をタップして  にすると、FaceTimeがWi-Fi接続時のみ利用できるようになります。





音声でiPhoneを操作する

音声でiPhoneを操作できる機能「Siri」を使ってみましょう。iPhoneに向かって操作してほしいことを話しかけると、内容に合わせた返答や操作をしてくれます。

Siriを使ってできること

SiriはiPhoneに搭載された人工知能アシスタントです。サイドボタンを長押ししてSiriを起動し、Siriに向かって話しかけると、リマインダーの設定や周囲のレストランの検索、流れている音楽の曲名を表示してくれるなど、さまざまな用事をこなしてくれます。「Hey Siri」機能をオンにすれば、iPhoneに「Hey Siri」（ヘイシリ）と話しかけるだけでSiriを起動できるようになります。アプリを利用するタイミングなどを学習して、次に行うことを予測し、さまざまな提案を行ってくれます。なお、iOS 17からは米国や英国、カナダ、豪州の英語圏限定で「Siri」と話しかけるだけで起動できるようになりました（2023年9月現在日本未対応）。



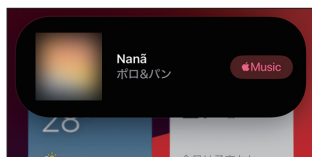
「Hey Siri」機能をオンにする際に、自分の声だけを認識するように設定できます。



Siriに「英語に翻訳して」と話しかけ、翻訳してほしい言葉を話すと、英語に翻訳してくれます。



「Siriからの提案」では、使用者の行動を予想し、使う時間帯や場所に合わせたアプリなどを表示してくれます。



聴いている曲の曲名がわからない場合は、Siriに「曲名を教えてください」と話しかけ、曲を聴かせると曲名を教えてください。

Siriの設定を確認する

① ホーム画面で[設定]をタップします。



② [Siriと検索] をタップします。

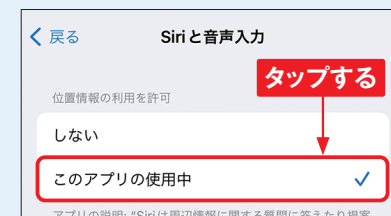


③ 「サイドボタンを押してSiriを使用」がONになっている場合はタップして、「[Siriを有効にする]」をタップし、Siriの声を選択して、「完了」をタップします。



Siriの位置情報をオンにする

現在地の天気を調べるなど、Siriで位置情報に関連した機能を利用する場合は、ホーム画面で[設定] → [プライバシーとセキュリティ] → [位置情報サービス]の順にタップします。[Siriと音声入力]をタップして、[このアプリの使用]をタップしてチェックを付けます。





iCloudにバックアップする

iPhoneは、パソコンと同期する際に、パソコン上に自動でバックアップを作成します。このバックアップをパソコンのかわりにiCloud上に作成することも可能です。

iCloudバックアップをオンにする

- ① ホーム画面で [設定] → 自分の名前の順にタップして、[iCloud] をタップします。



- ② [iCloudバックアップ] をタップします。



- ③ 「バックアップ」画面が表示されるので、「このiPhoneをバックアップ」が になっていることを確認します。「このiPhoneをバックアップ」が になっている場合はタップします。



- ④ 「このiPhoneをバックアップ」が になりました。以降は、P.217 MEMOの条件を満たせば、自動でバックアップが行われるようになります。

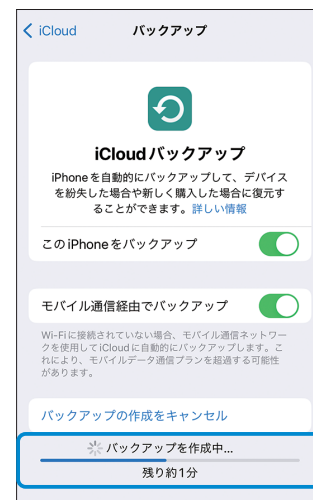


iCloudにバックアップを作成する

- ① 手でiCloudにバックアップを作成したいときは、Wi-Fiに接続した状態で、「バックアップ」画面で、[今すぐバックアップを作成] をタップします。



- ② バックアップが作成されます。バックアップの作成を中止したいときは、[バックアップの作成をキャンセル] をタップします。



- ③ バックアップの作成が完了しました。前回iCloudバックアップが行われた日時が表示されます。



MEMO 自動バックアップが行われる条件

自動でiCloudにバックアップが行われる条件は以下のとおりです。

- ・電源に接続している
- ・ロックしている
- ・Wi-Fiに接続している

なお、バックアップの対象となるデータは、撮影した動画や写真、アプリのデータやiPhoneに関する設定などです。アプリ本体などはバックアップされませんが、復元後、自動的にiPhoneにダウンロードされます。

iPhoneを探す



iCloudの「探す」機能で、iPhoneから警告音を鳴らしたり、遠隔操作でパスコードを設定したり、メッセージを表示したりすることができます。万が一に備えて、確認しておきましょう。

iPhoneから警告音を鳴らす

- 1 パソコンのWebブラウザでiCloud (<https://www.icloud.com/>) にアクセスし、[サインイン] をクリックします。iPhoneに設定しているApple IDを入力し、➡をクリックします。



- 2 [パスワードで続行] をクリックし、パスワードを入力し、➡をクリックします。



- 3 [デバイスを探す] をクリックします。



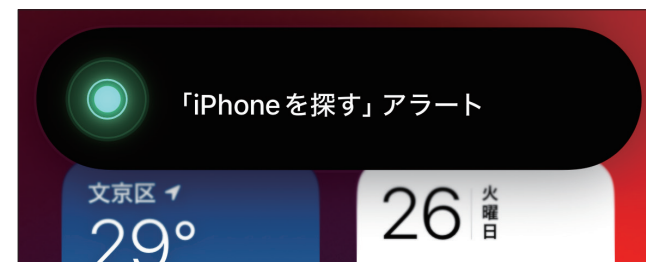
- 4 iPhoneの位置が円で表示されます。「あなたのデバイス」のデバイスをクリックします。



- 5 [サウンド再生] をクリックすると、iPhoneから警告音が鳴ります。



- 6 iPhoneの画面にメッセージが表示されます。



MEMO 最後の位置情報を送信する

iPhoneの「探す」機能は、標準でオンになっています。[設定] → 自分の名前 → [探す] → [iPhoneを探す] の順にタップして「最後の位置情報を送信」をオンにすると、バッテリーが切れる少し前に、iPhoneの位置情報が自動で、Appleのサーバーに送信されます。そのためバッテリーがなくなって電源がオフになる寸前に、iPhoneがどこにあったかを知ることができます。また、「探すネットワーク」をオンにすると、オフラインのiPhoneを探すことができ、電源オフになっていたり（最大24時間）、データが消去されてしまったりした端末でも探せます。



スタンバイを利用する

iPhoneを充電器に接続し、横向きに置いて固定すると、ロック画面の代わりにスタンバイが表示されます。iPhone 15 Pro / Pro Maxでは、「常にオン」画面が使えるので、充電中にいつでも時計やウィジェットを確認できます。

スタンバイの表示を切り替える

- 1 iPhoneを充電器に接続し、横向きに置いて固定します。iPhone 15 / Plusの場合は、ロック画面をタップします。初回に「ようこそスタンバイへ」画面が表示されたら、「続ける」をタップします。



- 2 ウィジェットのスタンバイが表示されます。画面を左右にスワイプすると、スタンバイを「ウィジェット」「写真」「時計」に切り替えることができます。

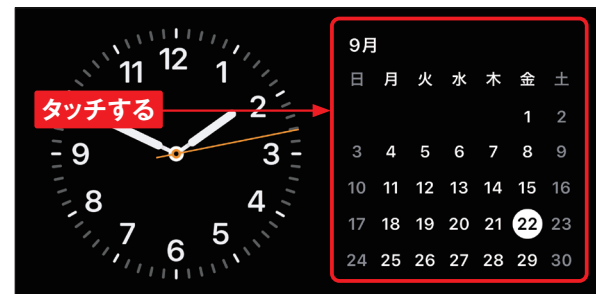


- 3 画面を上下にスワイプすると、ウィジェットの切り替えや時計のデザインを切り替えることができます。



ウィジェットを追加する

- 1 ウィジェットのスタンバイを表示した状態で左右どちらかのウィジェットをタッチします。



- 2 画面左上の「+」をタップし、追加したいウィジェット（ここでは[News]）をタップし、「ウィジェットを追加」をタップします。



- 3 画面右上の「完了」をタップすると、追加したウィジェットが表示されます。



MEMO

iPhone 15 Pro / Pro Maxで「常にオン」をオフにする

iPhone 15 Pro / Pro Maxでは、ロック画面を表示したままにできる「常にオン」が初期状態でオンになっています。そのため、スリープ中でも画面に情報が表示されます。設定をオフにする場合は、ホーム画面で[設定] → [スタンバイ]の順にタップし、「常にオン」をオフにします。